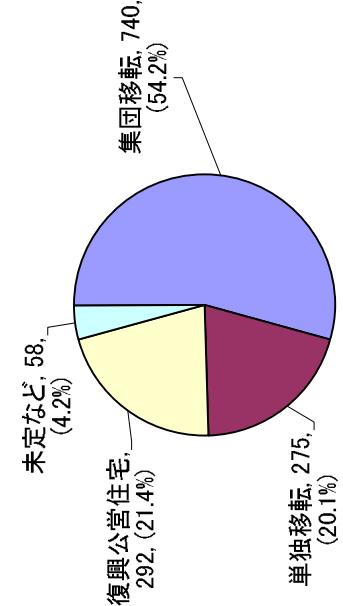
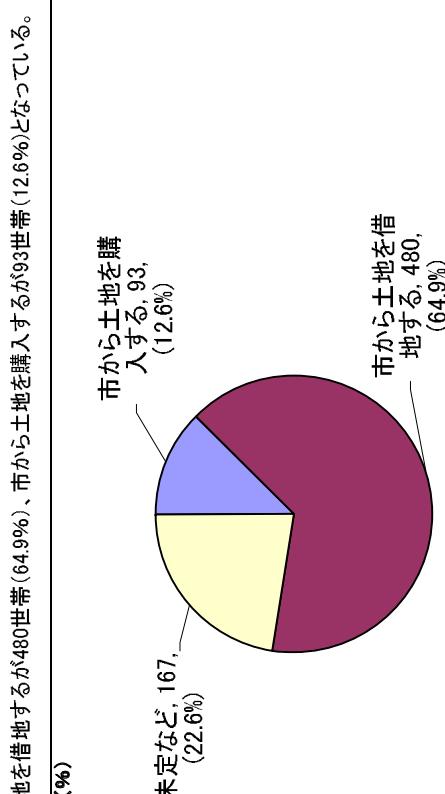


申出書集計結果の概要(7月1日到着分までの集計)

(1)住宅の再建方法(被災時に移転対象地区(災害危険区域)に居住していた方のみ対象)(N=1365)
移転対象地区内において、住宅の再建方法は、集団移転が740世帯(54.2%)、復興公営住宅292世帯(21.4%)、単独移転が275世帯(20.1%)となっている。



(2)集団移転
①土地の所有形態 (N=740)

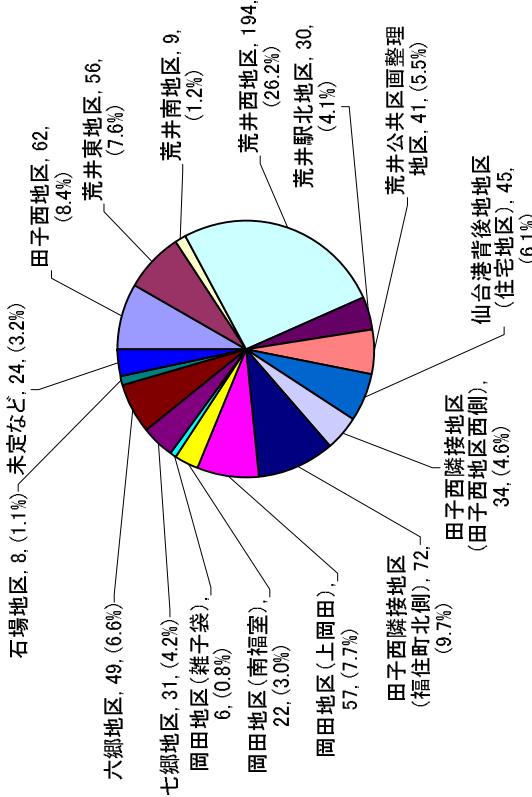


※グラフ数字は、回答世帯数と(%)

②移転希望場所(第一希望) (N=740)

移転先希望場所(第一希望)は、市街化区域では、荒井西地区が194世帯(26.2%)、田子西地区が162世帯(21.8%)となつており、市街化調整区域では、田子西隣接地区(福住町北側)が72世帯(9.7%)、岡田地区(上岡田)が57世帯(7.7%)となつている。

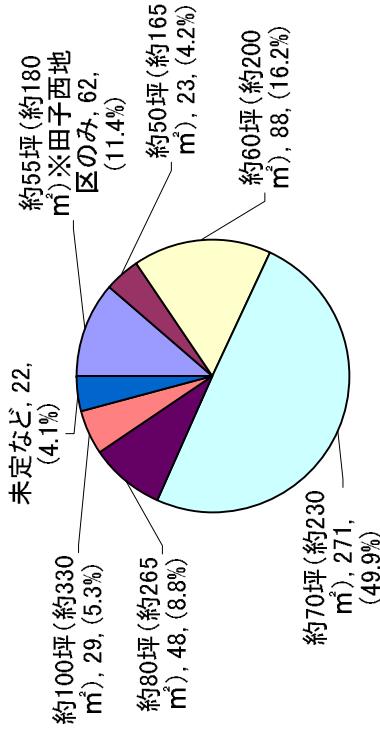
※グラフ数字は、回答世帯数と(%)



③希望する土地面積(第一希望)市街化区域(N=543)

市街化区域内の希望する土地面積(第一希望)は、約70坪(約230m²)が271世帯(49.9%)、約60坪(約200m²)が88世帯(16.2%)などっている。

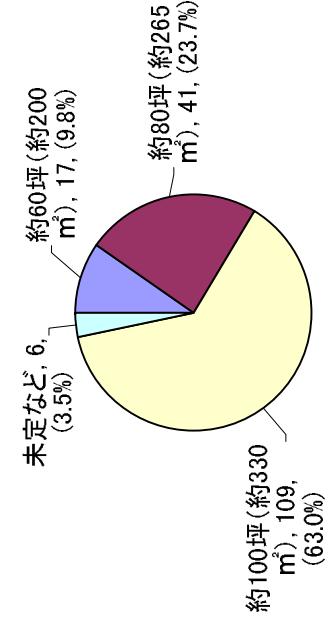
*グラフ数字は、回答世帯数と(%)



④希望する土地面積(第一希望)市街化調整区域(N=173)

市街化調整区域の希望する土地面積(第一希望)は、約100坪(約330m²)が109世帯(63.0%)、約80坪(約265m²)が41世帯(23.7%)などっている。

*グラフ数字は、回答世帯数と(%)

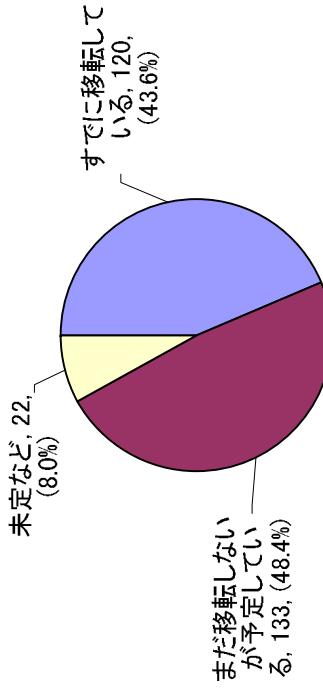


(3)単独移転

①移転の時期 (N=275)

移転の時期は、まだ移転しないが予定しているが133世帯(48.4%)、すでに移転しているが120世帯(43.6%)などっている。

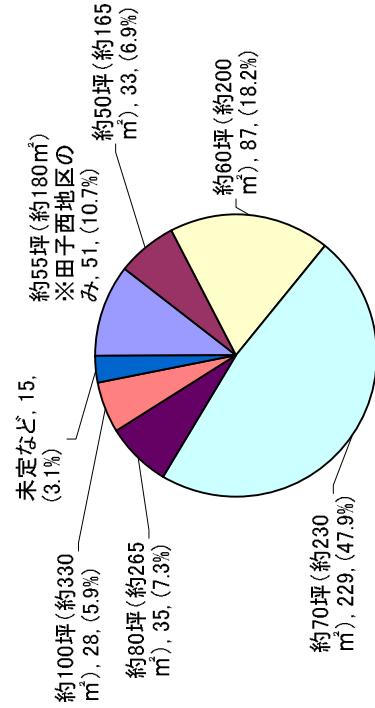
*グラフ数字は、回答世帯数と(%)



③希望する土地面積(第一希望)市街化区域(N=478)

市街化区域内の希望する土地面積(第一希望)は、約70坪(約230m²)が229人(47.9%)、約60坪(約200m²)が87人(18.2%)などっている。

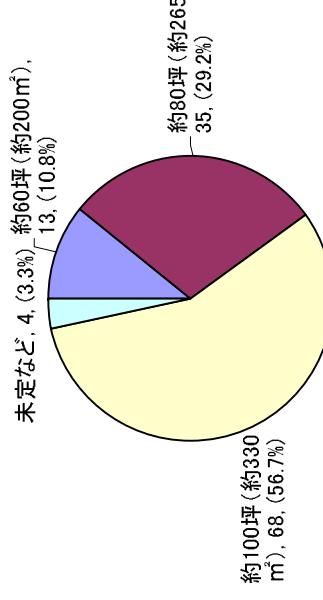
*グラフ数字は、回答人数と(%)



④希望する土地面積(第一希望)市街化調整区域(N=120)

市街化調整区域内の希望する土地面積(第一希望)は、約100坪(約330m²)が68人(56.7%)、約80坪(約265m²)が35人(29.2%)などっている。

*グラフ数字は、回答人数と(%)

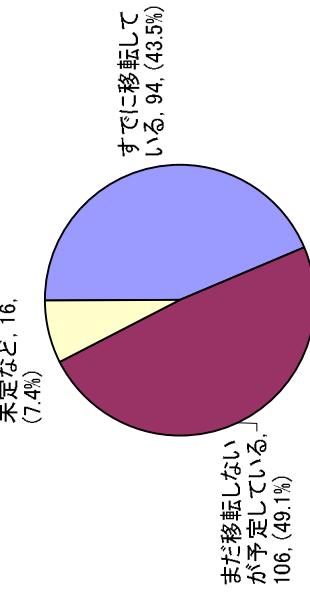


③単独移転

①移転の時期 (N=216)

移転の時期は、まだ移転しないが予定しているが106人(49.1%)、すでに移転しているが94人(43.5%)などっている。

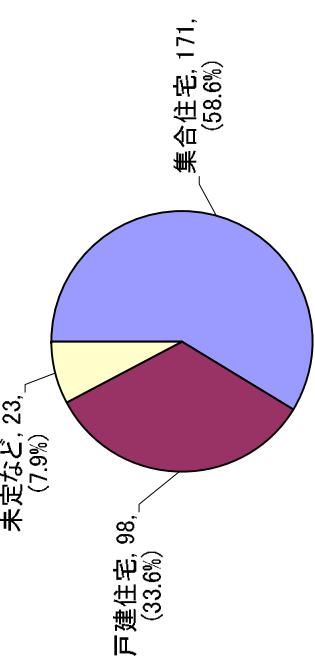
*グラフ数字は、回答人数と(%)



4)復興公営住宅

○復興公営住宅の形式 (N=292)

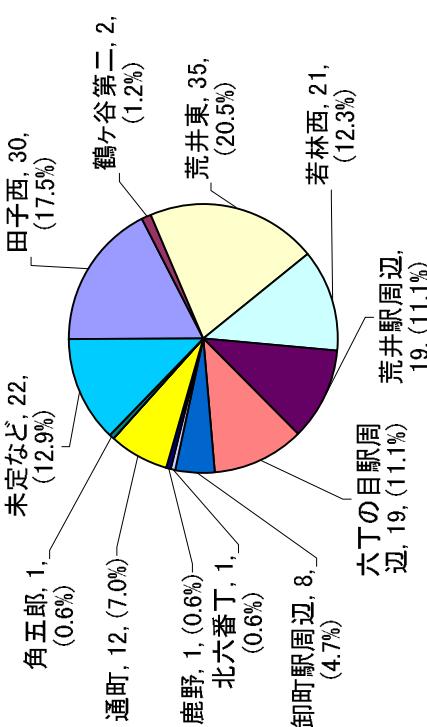
（興公営住宅の形式は、集合住宅が171世帯(58.6%)、戸建住宅が98世帯(33.6%)）となっている。



②入居希望場所(集合住宅) (N=171)

居希望場所(集合住宅)は、荒井東が35世帯(20.5%)、田子西が30世帯(17.5%)となっている。

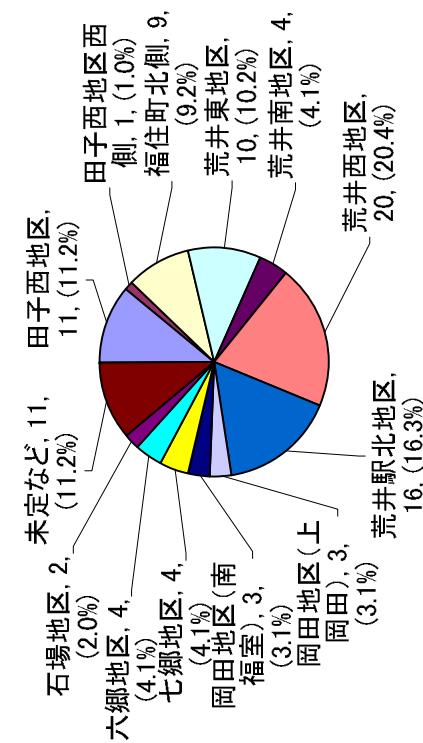
グラフ数字は、回答世帯数と(%)



1 里希特所（重建住家）(N=88)

（注）居希望場所（戸建住宅）は、荒井西地区が20世帯（20.4%）、荒井駅北地区が16世帯（16.3%）となっている。

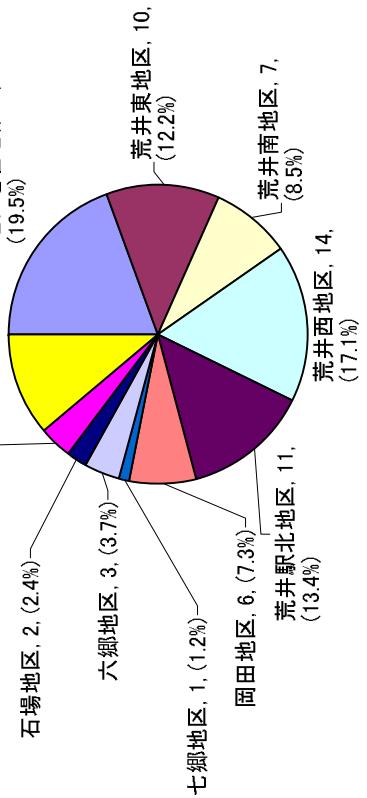
グラフ数字は回答世帯数と(%)



1

1

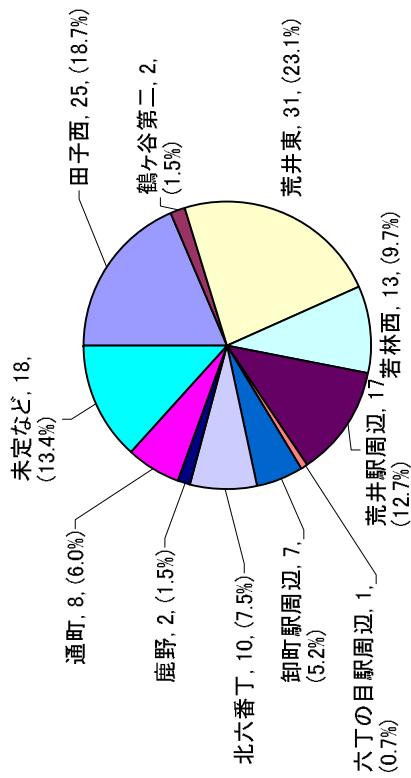
卷之三



③入居希望場所(戸建住宅) (N=82)

※グラフ数字は、回答人数比(%)

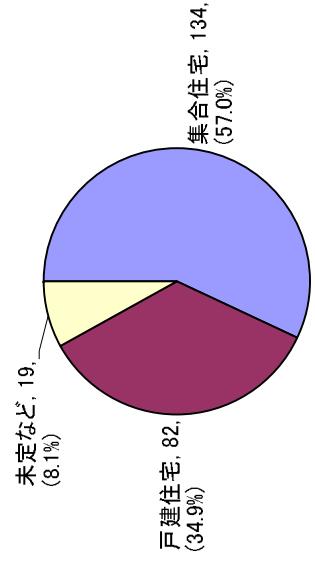
卷之三



②入居希望場所(集合住宅) (N=134)

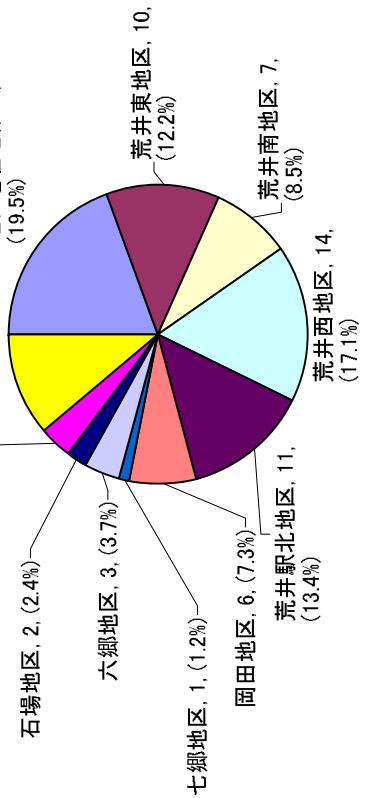
入居希望場所(集合住宅)は、荒井東が31人(23.1%)、田子西が25人(18.7%)となっている。

卷之三



②入居希望場所(集合住宅) (N=134)

入居希望場所(集合住宅)は、荒井東が31人(23.1%)、田子西が25人(18.7%)となっている。



③入居希望場所(戸建住宅) (N=82)
入居希望場所(戸建住宅)は、田子西地区が16人(19.5%)、荒井西地区が14人(17.1%)となっている。

※グラフ数字は、回答人数比(%)

卷之三